

2018 彩る感動東海総体 翔べ誰よりも高く東海の空へ

剣道競技（青森県代表選手の活躍）

開催期間：2018年8月9日（木）～8月12日（日）

会場：三重県営サンアリーナ

【女子団体戦】

第3位 東奥義塾高校

【女子個人戦】

第3位 齋藤 とも（東奥義塾）

「全国大会戦評」

初出場の八戸工大一は、先手必勝の澁刺とした剣風で強豪奈良大付属戦に挑んだが、徐々に強豪の重圧に押され、1-0で敗退。続く徳島県代表の鳴門渦潮高校にも持ち味を発揮できず0対3で目標の予選リーグ突破はお預けとなった。

男子個人戦では代表2名が1年生ということもあり、思い切りの良さに期待したが、岩渕（東奥義塾）、田中（八戸工大一）ともにインターハイという大舞台のプレッシャーなのか、本領を発揮できず初戦で涙をのんだ。

女子団体戦では前評判どおり、東奥義塾が安定した力で予選を勝ち上がり、決勝トーナメントに駒を進めた。東奥義塾の技は他を寄せ付けない圧倒的な強さであり、危なげなく準決勝まで勝ち上がった。準決勝の相手は王者中村学園であったが、思いを一つに果敢に挑む東奥義塾の選手達の姿は観衆を魅了した。大将戦では杉本がコテを先取り、観衆はその試合に釘付けとなった。しかし、相手は今年度世界選手権大会の日本代表である。ほどなくして、メンを2本取られ試合終了。第3位となったが、1・2年生が主力のチーム、今後の活躍が大いに期待できるだろう。

女子個人においては、森永（東奥義塾）が惜しくも2回戦で姿を消したが、1年の齋藤（東奥義塾）が抜群のセンスと安定した実力で第3位に輝く大健闘を見せた。今後ますます活躍が期待される選手である。

